



学校図書館司書 今井真子

# 図書だより 7月号



## ほん おび ぼしゅう 本の帯 募集しています

今年も本の帯を募集しています。本の帯とは、その本を言葉や絵で紹介するものです。

本を読んでみて面白かったところや、おすすめのところを言葉や絵で書いてください。図書室は、

6月末で閉めています。本の帯ができた人は、7月16日(火)までに持ってきてください。用紙

と応募票は、図書室に置いています。

どくしょかんそうぶんかだいとしょ しょうかい  
読書感想文課題図書を紹介



### 『どうやってできるの? チョコレート』 田村孝介ほか・写真 (1・2年生用)

チョコレートはどうやって作るの? カカオはどのように日本にくるの? チョコレートができるまでのようすが、大きな写真でしようかいされています。

### 『アザラシのアニュー』 あずみ虫・作

海にうかぶ氷の上で、アザラシのあかちゃんがうまれました。でも、おかあさんは先に北の海へ行ってしまいました。のこされたあかちゃんは、ぶじ、なかまのところに行けるのでしょうか。

### 『おちびさんじゃないよ』 マヤ・マイヤーズ ぶん (1・2年生用)

テンちゃんは、からだは小さいけれど、なんでもできるので、おちびさんじゃないと思っています。

ある日、転校生のマルくんがやってきました。いじめっ子がマルくんにいじわるをはじめました。

### 『ごめんね でてこい』 ささき みお 作・絵 (1・2年生用)

ハナちゃんは、しばらくのあいだ、だいすきなおばあちゃんとくらすことになりました。でも、だんだんと、いやになってきました。なにがあったのでしょうか。

### 『さよなら プラスチック・ストロー』 ティーロミート 文

(3・4年生用)

ストローのはじまりは、5000年以上も前のこと。せっかく作った大麦ビールを工夫して飲むためでした。長い年月をかけ、人々が工夫を重ね、今のようなプラスチック・ストローができました。でも、プラスチックは、海洋汚染につながるものでした。

### 『聞いて 聞いて! 音と耳のはなし』 高津 修・遠藤義人 文 (3・4年生用)

赤ちゃんが「おぎゃー」と泣く声は、どこから出ているのかな? その声は、どうやって私たちの耳に届くのかな? 音の伝わり方がイラストで、わかりやすく説明されていますよ。

### 『じゅげむの夏』 最上一平・作 (3・4年生用)

4年生の夏休み、難病を抱えたかっちゃんのねがいをかなえようと、ぼくたちは綿密に計画をねった。冒険とも思える計画は、うまくいくのか・・・

### 『いつかの約束 1945』 山本悦子・作 (3・4年生用)

ある日、出会ったおばあちゃんは「あたしは、関根すず。9さい!」という。この人は、いったいどうしたのか? もしかしたら、だれかと入れ替わったのかな?

うらにつづく



## 『図書館がくれた宝物』 ケイト・アルバス・作（5・6年生用）

1940年の戦争中、ロンドンで暮らす3人の兄妹は、親代わりのおばあちゃんを亡くし、田舎に疎開することになりました。厳しい疎開生活の中で、3人の心をいやしたのは、村にある図書館でした。

## 『海よ光れ！ 3・11被災者を励ました学校新聞』 田沢五月・文（5・6年生用）

東日本大震災の避難所となった大沢小学校。地域の被災者といっしょに、学校で寝泊まりしていた子どもたちは、自分たちに何ができるのかを考えました。

## 『ぼくはうそをついた』 西村すぐり・作（5・6年生用）

広島に住む小学5年生のリョウタは、戦争は怖いと思っても、どこか他人ごとのように思っていた。しかし、祖父から原爆で亡くなった祖父の兄の話聞いて、その祖父の兄の足跡をたどろうとした。

## 『ドアのむこうの国へのパスポート』

## トンケ・ドラフト&リンデルト・クロムハウト作（5・6年生用）

ふしぎなドアの向こうに行くには？ ラウレンゾーとクラスの間は、作家から届くなぞときに挑戦する。そして、仲間や自分を深く知っていく。はたして、ドアの向こうにあったのは・・・